

第60回

健康のススメ

板東 浩

話題騒然、感動のスーパーサーカスとされる「アレグリア2」を観る機会を得た。サーカスとは本来サークル(円)に由来し、丸い舞台で行われる。従来のもとは異なり、演劇とアクロバットが融合した新世代のアートと言えよう。つまり、テーマを有したシアター的パフォーマンスなのだ。

その技術の高さには舌をまく。

綱渡りや大胆な離れ業、中でも空中ブランコの超人的なテクニック

は圧巻!これらに華麗なセンスが加わり、芸術作品のレベルまで達している。

私が特に興味をもったのが、道化師のアントン。歌って合唱を求め、観客の反応なければがっかり、大合唱すれば大喜び。いろんな仕草で笑いを誘う。後になって、驚愕の事実が判明した。誰も気づけなかったと思うのだが、彼は聴覚障害

者でコミュニケーションには筆談が必要であると。相手の表情や口元で心が読み取れるという。

根底を流れるコンセプトには、人生への賛歌、自然界の輪(circle of life)が認められる。森羅万象には過去と未来、静と動、暗と明、陰と陽というコントラストがある。地球も宇宙も丸く、四季が

巡るように、私たちの命も循環している。生命は限られているからこそ尊く、そして掛け替えのない

ものなのだ。だから日々のquality of life(QOL)が重要となってくる。

今後、名古屋、大阪、東京で公演があるので、いちど観劇をお勧めしたい。きっと、和の心を持ちながら、大切な人々と一緒にサークルダンス(輪踊り)を続けていきたいと思うはず。

(医学博士、内科医師)

『自然界の輪』